

## 岐阜県立恵那農業高等学校

学校長 水野 泰孝

学校住所 岐阜県恵那市大井町2625番地の17 電話 0573-26-1251

- 1 会議名 恵那農業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月23日(土)
- 3 開催場所 恵那農業高等学校 農高祭の参観・集合形式の会議(会議室)
- 4 委員 大宮 康一 様 岐阜大学地域協学センター准教授  
臼田 浩通 様 岐阜県立国際園芸アカデミー教授  
岡庭 隆 様 保護司  
小椋日南恵 様 えな「たべる」プロジェクトアドバイザー  
楯 博子 恵那市立恵那西中学校長  
伊藤 政之 恵那市立大井第二小学校長  
田中 沙織 卒業生保護者  
丸山 鮎美 在校生保護者

学校側	水野 泰孝 校長	丹羽 建一 教頭
	矢島 博光 事務長	水野 歩 教務主任
	野々目佳世 進路指導部長	河島 隆浩 生徒指導部長
	今井 章文 特別活動部長	野村 祐作 農場長

### 5 会議の概要

- ・「農高祭」の参観
- ・学校評価アンケート(生徒・保護者)結果報告
- ・(協議事項)学校の姿、生徒の姿に触れて ～生徒の主体的な学習の姿～ について

#### 委員からの意見

- ・農高祭の来場者との接点で前面に生徒が出ていた。先生がサポートに徹していて、生徒が楽しく学んでいる。
- ・農高祭では課題研究の成果発表を中心に見た。群制度の効果で学科の研究内容が広く深くなってきた。例えば、食品加工の研究チームが原料農産物の生産にまでフィードバックしている点など感心した。
- ・環境科学科の子どもの体験講座で、木を使った工作を体験した。生徒がとても丁寧に指導しており、参加者はもっとやりたいと時間が足りないぐらいだった。生徒は「全員がリーダーで全員がメンバー」となって主体的に指導していた。
- ・普段から中学校でも農業などの体験活動の指導に協力してもらえ感謝している。その場面でも、それぞれの生徒が先生の力を借りず自分たちだけで活動を進めており、主体性が表れている。
- ・自分の学んだことに自信を持っている。これはアンケート結果と一致しており、多くの生徒がこの学校に入って良かったと答えている。

・生徒の主体性ということでは「毎年やっているから」では効果がない。それ以上に「やりたいからやる」を大切に、その子がどうしたいか、何をやりたいかを大事にしていく。そのためには余地、余白がカリキュラムの中で用意されていることを大事にしたい。

・スクール・ミッション（案）について

校長より 原案に込めた思いについて説明。特に生徒たち自身が、自分こそが「地域資源」という自信を持って、主体である姿と気持ちを開花させたい。

委員より 文言等に関する意見が出され、修正したが、大筋、案のとおり認められた。

## 6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、生徒・保護者学校評価アンケート、日頃の活動報告、そして一般公開した「農高祭」での生徒の姿の視察をもとに意見を得た。今年度の目標である生徒の主体性について意見をいただき、生徒が決定できる余地・余白が必要との意見をいただいた。地域貢献となる生徒の主体的な学びをより高いレベルにしていきたい。